

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール（グループホーム青空倶楽部筒井館ユニット1）

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人理念を全職員で確認したうえで、事業所内のチーム理念を作成している。理念に基づいたケアの方針を定め実践している。			地域社会の一員として自分らしく生涯を過ごせるよう支援していく。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所の秋祭りを開催し、地域へもチラシを配布し、少ないながらも来ていただいた。	イベントでの飲食物の提供や演奏会の披露などのきっかけを通じて交流を深め、地域からの相談への対応や情報を共有できるようになれば良いのではないかな。		秋祭りのイベントに来場いただいた方々との継続的な交流の機会を模索していきたい。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	主に事業所の運営状況や活動内容等について検討し、アドバイス等を行っているが、地域の状況等についての情報交換も行いながら、地域に貢献できる事業所として活動できるようにしたい。	事業所の取り組みなど、会議以外での発信(SNS等)などを行っている事業所もあり、参考にしてみても良いのではないかな。		様々な形での交流や情報のやり取りについて、ツールの活用も検討していきたい。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	市担当者への書類提出時等に活動状況の報告や相談をしながら連携に努めている。	アクシデント発生時など適宜連携されている様子であるが、平時からの連携についての検討もできれば良いのではないかな。		今後も市や地域包括支援センター等との連携しながら適切な運営につなげていきたい。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内の「身体拘束適正化委員会」にて具体的な予防策や対応策についての検討を行うとともに、定期的な研修を実施し、身体拘束のない事業所づくりに努めている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な研修会で理解を深めつつ、職場内での具体的な事例検討や、運営推進会議などでの意見交換を行いながら適切なケアを実践できるようにしていく。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内の「虐待防止委員会」にて具体的な予防策や対応策についての検討を行うとともに、定期的な研修を実施し、虐待のない事業所づくりに努めている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員のメンタルヘルスにも配慮しながら、虐待が発生しないような職場環境を構築していく。

7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度や権利擁護についての研修会に参加し学ぶ機会を設けている。また法人内に成年後見相談所を開設しており相談所のスタッフからも情報を得ながら理解に努めている。			成年後見制度を利用されている利用者もあり、具体的事例もまじえながら理解に努めている。
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時は、重要事項説明書を基に、サービス内容や利用料金等を文書と口頭で具体的に説明し、理解して頂いた上で契約を行なっている。			解約、長期入院、支援方法等、ご家族の不安や疑問には、その都度対応し、不安を軽減しご納得頂ける様努めている。
9	運営に関する利用者、 家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、各ご家族に書面や口頭にて状況を報告し意見や要望を頂けるよう努めている。また、定期的な介護計画作成時には、対話を重ね意見や要望を取り入れたものとなるよう努めている。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	サービス利用について、介護計画作成時などニーズを把握し反映できるようにしている。
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員全体ミーティングや個別面談にて意見を収集し、法人会議等で検討し反映できるようにしている。			運営に対しての職員の小さな気付きや意見を掘り下げ改善策を見出し、より良い環境を構築していく。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	360度人事考課制度で互いに評価し合い、能力や適性などを確認し働きやすい環境になるよう努めている。また、労働時間の調整や有給休暇の取得など、働きやすい職場環境の構築に努めている。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外国人の人材の活用や、多様な勤務形態にも対応できる職場環境の構築に向けて今後も取り組んでいく。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月法人内事業所の管理者による会議を行い、職員個々の現状や課題について共有し対応を検討している。外国人労働者にも対応した、就業時の教育プログラムや資格取得支援も行っている。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員個々のスキルに応じた教育訓練を実施し、スキルアップが出来るよう取り組んでいく。
13	同業者との交流を通じた 向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	GH協会の全国大会へ職員が参加発表を行い、他GHの取り組みについて学ぶ機会を設けている。また、圏域でのGHとの情報交換にも努めている。			現状では限られたスタッフのみでの交流会等への参加となっている為、今後はより多くのスタッフが交流する事ができるようにしていきたい。

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おらず、暮らしを共にする者同士の関係 を築いている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームは入居者が主体的 に生活する場所と認識し、職員は共 に生活しながらサポートしていく役割 である事を明確にしている。			入居者個々の ADL など総合的な能力 に配慮しながら、それぞれがイキイキと 過ごせるよう関係構築に努めていく。
15	馴染みの人や場と の関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支 援に努めている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事故や感染予防に留意しながら、自 由に外出や外泊等にできるようにし ている。これまでの交友関係などにも 配慮し、希望があれば交流が実現 できるよう支援している。	自由に面会や外出可能であり、馴染み の関係が継続できるようになっている。 家族等へ日常の様子や写真等を送付し 現状を報告している。		様々なツール(人、モノ、場所)を活用し ながら、その人らしさを失わないよう支 援していく。
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、 一日の過ごし方の希望や意向の把握に努 めている。	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の何気ない会話や生活状況の中 で、御本人の気持ちに耳を傾け、 意向に添った支援に努めている。ご 家族等からの情報も参考にし、スタッ フ間にて共有している。			今後も利用者の思いやニーズの変化な どにも柔軟に対応できるよう取り組みた い。
17	チームでつくる介 護計画とモニタリン グ	本人がより良く暮らすための課題とケアの あり方について、本人、家族、必要な関係 者と話し合い、それぞれの意見やアイディ アを反映し、現状に即した介護計画を作成 している	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の状態を確認し、御本人や御 家族の意向を取り入れながら計画を 作成している。担当職員を中心に全 職員で検討を重ねモニタリングも行 っている。	ご家族との面会時などに意向を確認する とともに、毎月の職員会議で共有されて いる。主治医など医療関係者にも身体状 況の相談確認しながら介護計画に反映 されている。	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のケアを行う職員や医療従事者、 ご家族など、利用者本人と関わる全て の関係者の気づきや意見を取り入れら れるようにしていく。
18	個別の記録と実践 への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに 活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子を個別に記録し、具体的 かつ客観的に記載するようにしてい る。 記録項目について、重複する部分は 整理し分かりやすくする工夫を行っ ている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外国人スタッフにも記入しやすく、より分 かりやすいものとなるよう検討していく。
19	一人ひとりを支える ための事業所の多 機能化	本人や家族の状況、その時々生まれる ニーズに対応して、既存のサービスに捉わ れない、柔軟な支援やサービスの多機能化 に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の状況の変化に応じて、通院や 買い物などへの外出に柔軟に対応し ている。重度化対応にも取り組み医 療と連携しながら、最期までグルー プホームで過ごして頂けるよう支援し ている。	医療ニーズに対して、外来通院や訪問 診療、訪問看護の利用など状況に応じ て対応している。外部との交流などにも参 加し、地域資源の活用も図っている。		今後も利用者の様々な変化に対応でき るよう、関係各所との連携や協力体制 の構築等を行っていきたい。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源 を把握し、本人が心身の力を発揮しながら 安全で豊かな暮らしを楽しむことができ るよう支援している	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	大学生の実習受け入れなどを通じて 交流しながら能力などを披露し刺激 ある生活になっているのではない か。	実習からのフィードバックをもらい日々 のケアの参考になるよう取り組まれている のではないかな。		これからも多様な地域資源の発掘に努 め、それぞれに意義のある協働の取り 組みを行っていきたい。

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居の際に受診状況を確認し、今後の受診先を決めている。御本人や御家族の意向を伺い、信頼のできる医師との関わりを大切に考え支援している。			今後も御本人の変化を把握して医療との連携を図り、ご家族との相談も行いながら意向に沿った治療やケアが受けられるようにしていく。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関へ入院した際には、相談員や医師、看護師との情報交換を密にし、ホームでの生活に早めに戻ることができるよう支援しており、その際には、主治医とも相談した上で対応方法を決めている。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入退院時の医療機関との情報共有を行い、状況や環境の変化により入居者に影響を及ぼさないよう配慮していく。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化の指針を作成しており、利用契約時に重度化した場合や終末期のあり方について説明した上で意向を確認している。主治医や訪問看護などとの連携も密に図り支援している。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設入居の時点での意向を確認し、更に状態変化毎に意向を再確認している。また、状態変化に応じて御家族、医師との面談の場も設け対応している。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時における対応マニュアルを用意している。普通救命講習を定期的に開催し、全職員が受講できるようにしている。また、個々の利用者の急変に備えた対応方法を主治医等に確認し実践できるようにしている。			定期的な対応方法の確認や、これまでの事例を振り返り慌てず確実に対応できるよう取り組んでいる。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	作成した BCP を基に定期的な研修や訓練等を行いながら準備しているが、訓練などを実施する中で見えてきた不足部分などもあり、都度修正追加を行いながら仕上げている。	BCP も準備され定期的な訓練や備えはできている様子。法人内での協力体制は整っているが、近隣との連携等も検討しておくべきではないか。	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	実効性のある対策にしていける為にも、定期的に訓練や研修を実施し見直していく。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の今までの生活歴を把握し、利用者の尊厳の保持に努めながら、声掛けやケアの実践をしている。記録などは個人のプライバシーに関わる記載事項もあり取り扱いには注意している。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症であってもひとりの人として尊重されるケアの実践に努めていく。入居者個々の癖や特徴を把握し、プライドや自尊心を阻害しないようにしていく。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設都合のペースにならないよう、利用者それぞれの1日の生活リズムを把握し、本人のペースで暮らしていただけるよう配慮している。			共同生活の中でそれぞれ快適な過ごし方が出来るよう、希望等を伺いスケジュール調整等を行っていく。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者各々の嗜好や嚥下状態を把握し、調理法など配慮している。職員も利用者と同じ食事を摂り、準備や後片づけも一緒に行っている。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の時間や提供場所等もその時々状況や希望に応じて対応している。準備や片付けも個々の出来る能力を活かせるよう配慮しながら行われている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	献立は、外部の栄養士が作成したものを使用している。好き嫌いのある入居者については適宜好みの副食なども提供できるよう、ご家族などと相談しながら対応している。			好きな時に好きなものを摂取できるよう配慮しながら支援していく。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケアを促しや介助にて行い、個々の状態や能力に合わせた支援を行っている。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯ブラシや口腔ケアスポンジ等、個々の状態に合わせた器具を用い清潔保持に努めるとともに、必要に応じ訪問歯科との連携を図り対応している。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の排泄パターンを観察し、気持ちよく排泄を行うことができるようトイレでの排泄を基本に考え支援している。介助の際は羞恥心に配慮している。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄介助については、羞恥心や自尊心への配慮の為にも過剰な介入にならないよう注意している。また、便秘予防の為の適度な運動などにも配慮している。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望を伺い入浴できるよう、毎日お風呂を用意している。利用者のプライバシーにも配慮し入浴を楽しんで頂けるよう努めている。			時間帯によっては職員の人員が手薄になる時間帯もある為、希望に沿う事ができない場面もあるが、了承頂けるよう説明を行うと共に人員配置の工夫など、対応に努めている。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活リズムやその時々状況に応じて、休息できるようにしている。寝付きにくい場合には会話や、少量の食物や飲料の提供等にて安心して入眠できるよう支援している。			良眠に繋げられるよう、日々の心身の状態や活動量など把握し、医師などにも相談しながら安易に薬に頼らず眠れるよう支援している。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調の変化があった場合は薬との関係も意識し、薬情報で確認している。また、利用者の処方変更等があった場合には、申し送り等を利用して		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	受診(往診)記録に診察結果や薬の内容変更などが記載され確認できるよう掲示している。また、服薬時は複数の職員

				周知し、状態変化の記録を行っている。			で毎回確認し間違いのないよう取り組んでいる。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の希望を把握しながら、楽しみごとを実行できるよう支援している。入居前の交友関係などで、定期的に面会や外出にて交流を継続される方にも対応している。	施設入居後でも以前の関わりを継続できたり、施設内でのそれぞれの役割を持ちながら生活される方もいて、ただ過ごすだけではない環境が構築されている。		互いに役割や達成感を感じながら日々の生活を送る事ができるように今後も取り組んでいきたい。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望により家族との外出外泊など、自由に出かけられるよう支援している。	限られた人員の中で工夫しながらそれぞれの希望をかなえられるよう検討している。		家族や友人、地域の理解や協力も得ながら今後も継続できるよう努めていく。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご希望に応じてご家族と相談の上で、利用者自身で小遣いを管理されている方もおり、買い物の際に支払いを行えるよう支援している。			安心して金銭を所持し使う事ができるよう、希望に応じて一緒に確認したり一時的に預り対応している。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	携帯電話を所持し自由に電話をしたり、施設の電話も自由に使用できるよう支援をしている。利用者の意向に応じご家族等に手紙でのやり取りができるよう支援している。			今後も希望に応じて自由に連絡を取れるようにしていきたい。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者間の人間関係にも配慮しながら互いに心地よく過ごせる空間とし、リビングには入居者と職員が一緒に制作した装飾品を季節毎に飾っている。自然な明るさや動線の確保、適度な生活音や人の気配などを感じて頂きながら快適な空間となるよう工夫をしている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リビングにキッチンが隣接しており、美味しそうな臭い等も感じられるようになっている。安全に移動できるよう整理整頓に努めている。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の何気ない会話や生活状況の中で、御本人の気持ちに耳を傾け、意向に添った支援ができるよう努めている。			日頃からこまめにコミュニケーションを図り、思いに寄り添った対応を心がけていく。

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本情報や生活歴を基に出来ること・好きなこと・得意なこと等を把握し主体的に行えるよう支援をしている。			御本人を取り巻く関係者からの情報も参考にしながらより良いケアに繋がれるよう努めていく。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の申し送りにて日々の状況を共有し、適切なケアや治療に繋がるよう支援している。また、事故防止と自立の両面から、生活環境への配慮がされている		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者自身の「できる事」への配慮と共に事故防止にも注意していく。心身の状態観察や確認を行い、主治医や訪問看護等との連携を図りながらケアを行っている。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の希望や要望を伺い希望に沿えるよう努めている。ご自分で伝えることが出来ない方は、生活歴などからくみ取るよう努めている。利用者の方々のその日、その瞬間を大切に考え支援している。			個々の習慣や嗜好などを把握しながら、楽しんで日々の生活を送る事ができるよう支援していきたい。
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設はご本人の自宅であり、居室は自由に使うことのできるプライベート空間である為、自由に愛用品や思い入れのある物を持ち込める事を説明している。入居後も本人の状態や意向に応じて居心地の良い居室となるよう配慮している。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身近に馴染みの物や大切にしているものを置く事で、安心できる環境を構築していく。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	御本人の希望に応じて一時帰宅や家族や知人との外出等、楽しむことができるよう支援している。	制限を緩和し、外出や催事への参加も出来るようにしながら、帰館時の検温や体調確認等の対応も行われている。		自由に、安全に、楽しく活動できるよう支援していく。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の習慣やADL等を把握し、毎日の過ごし方に取り入れている。困難になってきた場合であっても、少しでも楽しめるよう職員が共に行い楽しむ事が出来るよう支援している。			今後も様々な活動などを行いながら、ご本人に自由に選択できるよう支援していきたい。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの入居者やスタッフと談笑したり、入居者それぞれに担っている役割に沿って活動して頂くことで、いきいきと過ごす事が出来るよう支援している。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者その特性や好きなことを把握しながら、個々にあった活動ができるよう支援している。

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	買物外出時の店員とのやり取りや、散歩の際に近隣住民との挨拶、訪問業者との関わりなどがあり、交流を図っている。	日常の中で様々な交流を図ることは刺激にもなり、新たな関係構築にも繋がっていくのではないかな。		すべての希望に対応できない場面もあり、都度説明し理解を得たうえで対応していく。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康で安全に生活できる事を確保したうえで、それぞれの楽しみや希望する事柄が実現できるよう、支援していきたい。	認知症の進行や重度化により、したいけど出来ない事など出てくる場合もあるが、他者の補助や支援によってできる事はたくさんあると思うので、一緒に考えながらより良い生活ができるようになれば良い。	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これからも安心安全を提供しつつ、日常生活に楽しさを取り入れ活気ある環境を構築していきたい。

(参考様式4)

事業所名 グループホーム青空倶楽部 筒井館

目標達成計画

作成日: 令和 7 年 3 月 24 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	2	地域との単発的な交流の機会はあるが、継続的な関わりに繋がりにくい。	定期的な地域との交流を図る事で、交流をより深める事ができる。	施設イベント開催時の地域への案内の他、町内イベントへ積極的に参加し活動協力等を行う事ができるようになる。	6ヶ月
2	18	個別記録の記録事項に統一されていない部分がある事で、職員間での情報共有ができていない面がある。	個別記録の記録項目を整理する事で、より分かりやすくなり、次の実践や介護計画に繋げやすくする事ができる。	記録項目の必要事項を再確認・周知し、様式の変更等を検討していく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。